

ぎかい TIMES

令和3年9月1日発行 No.62

特集 市民インタビュー スポーツ関係団体 × 旭市議会



写真：スポーツアカデミーサッカークラブ「Cantera」の子どもたち

CONTENTS

4人の新議員が加わりました…4 6月定例会 議案審議…6 常任委員会審査Q&A…7 審議結果一覧…8 市政を問う！一般質問…9

旭市議会 スポーツ関係団体

議員が直接話を聞いて市民の本音に迫る「市民インタビュー」。今回はスポーツ関係団体にスポットを当てて、認定NPO法人スポーツアカデミーの代表・大場弘樹さん、同サッカーコーチの伊藤大志さん、スポーツ少年団「海上マリンキッズ」の団長・浅野隆朝さん、同監督の三好勇樹さんにお話を伺いました。

インタビュアー

旭市議会だより編集特別委員会
委員長
林 晴道 議員



認定NPO法人スポーツアカデミー

スポーツに親しむ社会の実現へ

スポーツアカデミーではどんな活動をしているんですか？

大場 幼児から高校生までを対象に、サッカーやバレーボールなどのクラブを運営しており、スポーツに親しむことのできる社会の実現、地域コミュニティづくりの推進を目的としています。またスポーツクラブ以外にも、学習支援や地域交流、子ども食堂や児童養護施設の子どもの無償受け入れなどもやっています。当クラブの特徴としては、若いスタッフを循環させることをコンセプトに、平均年齢が20代のスタッフで運営していることです。

子どもたちのコーチを始めようと思ったきっかけは？

伊藤 自分自身、小学校から中学校までこのサッカークラブに所属していて、高校生くらいの若いコーチに教わりながら楽しくやっていました。今は大学に



代表 おおばひろき 大場弘樹さん

通っているんですが、今度は自分がコーチとしての立場にたつて、同じようにサッカーをやりながら盛り上げていきたいという思いで、子ども達にサッカーを教えています。

子ども達と接する中で心掛けていることはありますか？

伊藤 自分が一番明るく元気に接することです。自分が暗いと子ども達のモチベーションの低下にもつながるので、子ども達の中で一番明るく盛り上げて、活動自体を活性化することを意識しています。

この活動をしていて苦労していることはありますか？

伊藤 自分も数年前は同じだったのですが、教えている中学生が反抗期なところ（笑）。ですが、そのことをマイナスに捉えるのではなく、じゃあ言うこと聞いてもらえるためにはどうすればいいの



コーチ いとうだいし 伊藤大志さん

か、それを考え、学ぶことで自分の勉強にもなっています。

大場 行政とのつながりをつくっていくことですね。市にはまだ中々入り込めない部分があるので、今後どうつながっていくかが課題です。

市や市議会に対してどのような印象を持っていますか？

伊藤 正直あまり関心がないのでわかりません(汗)。

大場 行政に頼らずに自分達でやっていくしかないと思っていましたが、今回のインタビューを通じて、自分たちの声が届くんだ、一緒になってやっていけるんだという期待を持ちました。

市や市議会に望むこと、伝えたいことはありますか？

伊藤 もっとこのクラブのことを知ってもらいたいです。今回のインタビューのような交流を今後も続けていけたらいい



バレーボールクラブの練習風景

と思います。

大場 学校に行けない子ども達をここで受け入れて、勉強を教えたり、スポーツなどを一緒にしたいと思っているんです

スポーツ少年団海上マリinkinキッズ

子ども達の教育の手助けになれば

海上マリinkinキッズはどんな活動をしているんですか？

浅野 当チームは海上野球場をホームグラウンドとした、発足から21年目の野球チームです。現在、小学生20名が在籍していて、練習は土日に行い、市内外の大会などにも参加しています。そのほか、市民体育祭や市民駅伝などの市の行事への参加や、海上地域の小学校の草刈りなどの奉仕活動も行っています。

この活動をしていて喜びを感じることは何ですか？

三好 大会などで勝った時はもちろんうれしいんですが、それよりも子ども達がちょっとでも、できなかったことができるようになったのを見ると、やって

が、どこにそういう話を持っていったらいいのかわからない。そのためには市や市民に、もっとこのクラブのことを正しく知ってもらいたい。

いてよかったなと思います。

苦労していることや悩みはありますか？

浅野 このコロナ禍で活動自体が制限されていることです。それと、海上野球場に消防署の移転計画があつて、早ければ来年にも練習場所として使えなくなってしまうので、子ども達が活動できる代替地を探さなければならぬことが今抱えている悩みです。

三好 同じく活動場所の問題ですね。市の方からは学校を代替地として提案がありました。今は昔と違ってボールやバットの性能が上がっていて、すごい飛びやすくなっているんで、高学年の子どもだとガラスを割ってしまうとか、そういう不安があります。なので、子ども達

が思いきり野球ができる場所を市と協力して探していきたいです。

今後、海上マリinkinキッズがどうなっているのでしょうか？

浅野 スポーツ少年団の理念にもあるとおり、我々の活動は、野球という最高の手段で子ども達の教育の手助けをさせてもらうということになるので、子ども達が正々堂々と気持ちのいい子になつてもえたら、それに尽きます。そしていつかプロ野球選手を輩出できたらいいですね(笑)

三好 少年野球は勝ち負けではなくて、野球の楽しさを教えるところだと思っているので、楽しくやってもらつて、中学、高校まで野球を続けてくれる子が増えてくれればいいですね。



あさの たかとみ
団長 浅野隆朝さん



みい ゆうき
監督 三好勇樹さん



メンバー勢揃い

4人の新議員が加わりました

令和3年7月18日に行われた

旭市議会議員補欠選挙で、

崎山華英氏、永井孝佳氏、井田孝氏、島田恒氏の

4人が当選しました。

なお、任期は前任者の残任期間である

令和3年12月31日までとなります。

改選まで4か月

現在の議員の任期は令和3年12月31日までとなるため、9月1日現在の残りの任期は4か月間です。今年の12月には旭市議会議員選挙が予定されており、議員定数の20人を改めて選挙することになります。

議員定数20人

議員の数は条例によって自治体が決めることができます。旭市議会では定数を20人と定めています。

※現在の議員数は欠員により19人です。

委員会の構成

総務常任委員会

委員長 宮澤 芳雄
副委員長 平山 清海
委員 島田 和雄、伊藤 保
飯嶋 正利、島田 恒

文教福祉常任委員会

委員長 林 晴道
副委員長 片桐 文夫
委員 景山 岩三郎、伊藤 房代
宮内 保、永井 孝佳
崎山 華英

建設経済常任委員会

委員長 向後 悦世
副委員長 遠藤 保明
委員 佐久間 茂樹、木内 欽市
高木 寛、井田 孝

議会運営委員会

委員長 島田 和雄
副委員長 向後 悦世
委員 佐久間 茂樹、宮澤 芳雄
林 晴道、片桐 文夫

用語解説

「補欠選挙」とは

現職の議員が死亡したり、辞職したりすると議員定数に欠員が生じます。公職選挙法では、議員定数の6分の1以上(本市の場合4人以上)欠員が生じた場合に、議員の欠員を補充するための選挙を行わなければならないとなっています。なお、当選者の任期は前任者の残任期となります。

現在の市議会議員19人を紹介します (議席番号順)



氏名

- ①住所
- ②電話番号
- ③生年月日
- ④常任委員会



- さきやまはなえ
崎山華英
- ①琴田
 - ②070-8495-8787
 - ③H1.10.19
 - ④文教福祉



- ながい たかよし
永井孝佳
- ①下永井574-7
 - ②57-3727
 - ③S53.6.21
 - ④文教福祉



- い だ たかし
井田 孝
- ①二の2484-1
 - ②070-4473-4667
 - ③S39.6.4
 - ④建設経済



- しま だ わたる
島田 恒
- ①見広600
 - ②55-5188
 - ③S33.2.1
 - ④総務



- かたぎり ふみお
片桐文夫
- ①仁玉806-1
 - ②85-5537
 - ③S34.3.24
 - ④文教福祉



- ひらやまきよみ
平山清海
- ①椎名内2913
 - ②63-0107
 - ③S32.7.31
 - ④総務



- えんどう やすあき
遠藤保明
- ①萬力2850
 - ②68-2065
 - ③S26.1.1
 - ④建設経済



- はやし はるみち
林晴道
- ①後草615
 - ②55-1233
 - ③S52.11.6
 - ④文教福祉



- みやうち たもつ
宮内保
- ①萩園1134
 - ②57-2342
 - ③S24.9.24
 - ④文教福祉



- たか ぎ ひろし
高木 寛
- ①清和乙697
 - ②68-2199
 - ③S24.1.1
 - ④建設経済



- い い じ ま ま さ と し
飯嶋正利
- ①足川1744
 - ②62-2858
 - ③S39.2.4
 - ④総務



- みやざわ よしお
宮澤芳雄
- ①南堀之内8-2
 - ②68-2522
 - ③S30.2.27
 - ④総務



- い とう たもつ
伊藤 保
- ①神宮寺7400-7
 - ②62-3294
 - ③S29.8.27
 - ④総務



- しま だ かずお
島田和雄
- ①見広715
 - ②55-2964
 - ③S27.3.31
 - ④総務



- い とう ふさよ
伊藤房代
- ①神宮寺7160-2
 - ②62-2827
 - ③S33.1.29
 - ④文教福祉



- こう ご えつ よ
向後悦世
- ①上永井1074
 - ②57-2287
 - ③S26.3.15
 - ④建設経済



- かげやま いわさぶろう
景山岩三郎
- ①足川3969-3
 - ②63-6055
 - ③S25.1.21
 - ④文教福祉



- き うち きんいち
木内欽市
- ①松ヶ谷1831
 - ②55-5555
 - ③S28.11.3
 - ④建設経済



- さ く ま しげき
佐久間茂樹
- ①三川3047
 - ②57-2298
 - ③S21.9.28
 - ④建設経済

6月 定例会

議 案 審 議

会期 6月9日～6月28日(20日間)

市長提出議案

- 予算案件 1 件
- 条例案件 5 件
- その他案件 11 件

この定例会には、令和3年度一般会計補正予算、条例の制定・一部改正、財産の取得、指定管理者の指定など17議案が市長より提出され、いずれも原案のとおり可決・承認されました。

議案
第1号

令和3年度 旭市一般会計補正予算

ワクチン接種

新型コロナウイルス接種事業に係る会計年度職員及び職員の人件費を計上。全額国費で補填される。

問 接種人数に対する人員体制は。

答 旭市保健センターでは、医師2名、看護師11名、事務職員17名程度。半日で200名ほど接種している。

総合体育館では、医師3名、看護師13名、事務職員27名程度。半日で450名ほど接種している。

旧指定ごみ袋代金の返還

ごみ袋の変更に伴い、販売ができなくなった旧指定ごみ袋について、販売協力店の在庫となっている分の代金を返還する。

問 対象となる店舗数と想定している枚数は。

答 市内133店舗で、引き取る枚数は旧指定ごみ袋7種類の合計で21万7千枚。

問 旧指定ごみ袋の使用期限は9月末までとなっているが、市民の中にはだいが在庫を抱えている家庭もあると聞いている。使用期限の延長をするべきでは。

答 使用期限については、10月以降の取り扱いも検討している。



旧指定ごみ袋は10月以降も使用可能になりました

議案
第6号

海上ふれあいサポート センターの設置及び 管理に関する条例廃止

海上ふれあいサポートセンターは昭和46年に建築、地域福祉の推進及び健康の増進を図ることを目的に運営してきたが、平成29年でその役割を終了したため、本条例を廃止。

問 平成29年以降の利用実績は。

答 老人クラブ連合会の役員会を年に数回開催、また敷地内にある倉庫を活

用して、近隣の老人クラブが毎月1回資源ごみ回収のリサイクル活動を行っている。

問 今後の具体的な利用方法は。

答 解体を予定していたが、旭市歯科医師会より建物の貸し付けについて申し出があったので、協議を行う予定。老人クラブの会議については、海上公民館など他施設の利用をお願いする。

指定管理者の指定 (おひさまテラス)

おひさまテラスの指定管理者をイオンタウン株式会社を選定。

問 今回は公募をせずに、1者を選定委員会を選定しているが、選定委員会開催の必要性はあったのか。

答 本市では公平性・透明性を確保するために、公募を行わない場合でも選定委員会を開催し、提出された書類の確認・審査を行うこととしている。

問 選定委員会では具体的にどのような意見があったのか。

答 おひさまテラスで働くスタッフについて、マネージャーなどの基本的なスタッフはイオンタウンで採用することになるが、なるべく地元の方を雇用していきたいという意見や、指定管理料や施設のコロナ対策についてなどの意見があった。

常任委員会審査Q & A

議案や請願・陳情を分野別に各委員会に振り分け、専門的に審査をします。審査後は、賛成・反対を決め、本会議で報告します。

建設経済常任委員会

今回の議案・請願には、建設経済常任委員会が所管とする分野がなかったため、委員会は開催されませんでした。

文教福祉常任委員会

令和3年度旭市一般会計補正予算の議決について(議案第1号)

Q 販売できなくなった旧指定ごみ袋を販売協力店から買い戻すとのことだが、その買い戻したごみ袋はどうするのか。

A 市役所庁舎内のほか、小中学校や保育園などで使用する予定。

Q ごみゼロや海岸清掃をする市民の方が使えるようにできないか。

A ごみゼロは別に専用の袋を作っているの、今のところ市民の方の利用は考えていないが、量的にかなり

余るようであれば、一つの方法として考える。

旭市社会体育施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について(議案第5号)

Q 旭市卓球場について、老朽化した施設を解体するということだが、現在施設を活用している旭二中の卓球部員68名の練習場所は考えているのか。

A 新庁舎が完成し、使用しなくなった市の施設を利用してもらうこと



解体予定の旭市卓球場

を考えている。

審査結果

委員会付託の10議案について、全員賛成で原案のとおり可決・承認、請願2件について、全員賛成で採択。

総務常任委員会

東日本大震災による被災住宅の建替住宅等に係る固定資産税等の減免の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について(議案第4号)

Q 固定資産税の減免について、震災から10年、今後どこまで延ばす予定があるのか。

A 当初、震災から10年ということ、で国から指定があったが、更に5年延長する旨の法改正があったため延長した。

指定管理者の指定について(おひさまテラス)(議案第8号)

Q この施設は多世代交流施設ということだが、実際にどのような事業を指定管理者は考えているのか。

A 具体的な事業の一つ一つのプログラムについては、これから来年4月のオープンにかけて煮詰めていく。イオンタウンが指定管理者になるが、様々なパートナーと協力しながら、細かいプログラムを来年に向けて練り上げていくことになっている。



審査結果

委員会付託の7議案について、全員賛成で原案のとおり可決・承認。

用語解説

（「指定管理」とは）

サービスの向上や経費削減など図ることを目的に、市が所有する施設の管理などを民間に行わせること。あらかじめ議会の議決を得て、指定期間を定めます。

令和3年第2回定例会 審議結果一覧

○=賛成 ×=反対 欠=欠席 議=議長 ※議長は採決に加わりません。

議案番号	件名	議決結果	1 片桐 文夫	2 平山 清海	3 遠藤 保明	4 林 晴道	8 宮内 保	9 高木 寛	10 飯嶋 正利	11 宮澤 芳雄	12 伊藤 保	13 島田 和雄	15 伊藤 房代	16 向後 悦世	17 景山 岩三郎	18 木内 欽市	19 佐久間 茂樹	20 高橋 利彦
市長提出議案																		
1	令和3年度旭市一般会計補正予算の議決について	可決	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○
2	旭市職員の服務の宣誓に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○
3	旭市固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○
4	東日本大震災による被災住宅の建替住宅等に係る固定資産税等の減免の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○
5	旭市社会体育施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○
6	海上ふれあいサポートセンターの設置及び管理に関する条例を廃止する条例の制定について	可決	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○
7	財産の取得について (旭市指定広域ごみ袋)	可決	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○
8	指定管理者の指定について (おひさまテラス)	可決	○	○	○	○	議	×	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○
9	専決処分の承認について (令和3年度旭市一般会計補正予算)	承認	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○
10	専決処分の承認について (令和3年度旭市一般会計補正予算)	承認	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○
11	専決処分の承認について (旭市税条例等の一部を改正する条例)	承認	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○
12	専決処分の承認について (旭市都市計画税条例の一部を改正する条例)	承認	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○
13	専決処分の承認について (旭市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例)	承認	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○
14	専決処分の承認について (旭市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例)	承認	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○
15	専決処分の承認について (旭市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例)	承認	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○
16	専決処分の承認について (旭市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例)	承認	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○
17	財産の取得について (水槽付き消防ポンプ自動車(Ⅱ型))	可決	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○
請願																		
1	「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する請願	採択	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○
2	「国における2022年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願	採択	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○
委員会提出議案																		
1	義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書の提出について	可決	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○
2	国における2022年度教育予算拡充に関する意見書の提出について	可決	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○

※木内議長欠席のため、宮内副議長が議長を務めました。

一般質問

一般質問とは、本会議で議員が行う市政全般に関する質問です。旭市のさまざまな課題などについて、市の考えを聞き、説明を求めます。主な質問と答弁の要旨は次のとおりです。



旭市新庁舎の竣工に関して

問

旭市の未来を創る拠点として、平成17年の合併以来、15年の長い歳月を経て、新庁舎が無事に完成し、4月26日から業務が始まった。この庁舎建設は市長の在職3期12年に渡る市政運営の中で集大成になる事業だと思うが、この庁舎への全体を貫く基本的な構想やその思いを明智忠直市長にご教示願う。

答

分散していた行政機能を一つの庁舎に集約することは市長就任時からの大きな目標であった。新庁舎建設は旭市民の融和に向けた集大成となる一大事業であり、市民に開かれた庁舎、拠点となる庁舎、市民の安全・安心を支える庁舎などをコンセプトとして取り組んできた。

問

新庁舎の維持管理は複雑多岐にわたるものとなり、担当職員の労力も増していくと思われる。その一方で、コスト削減や効率的な施設維持を鑑みた時、こ

れからどのような方法で維持管理を行っていくべきか。

答

庁舎管理事務の煩雑化に伴い、民間事業者のノウハウを活用した施設の総合的な管理、包括的管理業務委託の将来的な導入について検討していく。

問

住民サービスに直結する公用車や職員駐車場については、庁舎の近くに配備すべきと考えられる。新庁舎のすぐ隣には、整備されていて利用率の極めて低い駐車場があるが、その駐車場には制約がある。しかしそれに挑むのが政治家の役割だと思うので、前年度まで新庁舎建設担当であった副市長の見解を求める。

答

隣接地の駐車場用地の確保に向けて現在準備を進めている。



林 晴道 議員



4月26日開庁した市役所新庁舎

QRコードを読み取ると、質問した議員の録画映像がご覧いただけます。



平山 清海 議員



消防団員の確保対策を

問 地域防災にとって消防団員は欠かせない存在だと思うが、担い手を確保するためにどのような対策を考えているのか。

答 消防団に入団しやすい環境づくりとして、平成30年から旭市消防団サポート店制度を実施しており、消防団を応援したいという市内の協力店に、消防団員やその家族が証明証を提示することで、各店舗独自のサービスが受けられるようになる。また、平成28年から消防団恋愛事業を実施しており、団員の出会いの場を設けている。

問 消防団活動において、どのような点に注意しているのか。

答 ポンプ操作の訓練は夜間の実施が多く、また他の訓練も休日に実施しているので、団員の精神的・肉体的な負担を軽減するため、時間を制限・短縮して実施していく。



日頃の訓練成果を発表する消防操法大会

子どもたちの安全確保のために

問 中央小学校東側の横断歩道について、これまで何度も質問してきたが、まだ消えたままになっている。千葉県警のほうですぐに塗装の引き直しをしてもらえないのならば、特に小学校周辺の横断歩道だけでも、市の予算で塗装の引き直しはできないのか。

答 旭警察署に確認したところ、横断歩道の塗装の引き直しは千葉県警察本部が実施しており、市で対応することはできないとの回答があった。早急な対応をしてもらえるよう、市としてもさらに要望をしていく。

その他の質問事項

- 旭市の防犯カメラについて
- マイナンバーカードについて

投票率向上の取り組みを

問 銚子市では、イオンでの期日前投票所に加え、車両による移動期日前投票所を開設した。本市においても投票所の数が激減し、高齢者は投票所に行くだけでも大変だと聞いているが、このような取り組みができないか。

答 現在市では、投票所19か所のほかに、期日前投票所として各地区に1か所ずつ、計4か所を設けているため、商業施設や移動投票所というのは考えていない。

問 投票率を上げるための手段として、本市ではどういったふうに考えているのか。

答 若年層に向けた新たな取り組みとして、今年2月から選挙管理委員会のツイッターアカウントを開設し、選挙啓発または選挙に関する情報発信などを行っている。そのほか、市内の高等学校に訪問して模擬選挙などを行い、投票率の向上を図っている。

横断歩道の引き直しを

問 学校周辺の横断歩道について、摩擦などにより消えかけている箇所がある。歩行者の安全確保はもちろんのこと、運転手側としても、横断歩道が見えにくいことで道路交通法の違反行為を犯してしまう可能性も危惧されるので、早急に塗装の引き直しをするべきでは。

答 道路パトロール時などに、横断歩道の状態についても重点的にその位置や状況の把握に努め、旭警察署へ情報提供をして補修などをお願いする。



一般質問後に引き直しがされた中央小東側の横断歩道

その他の質問事項

- 新型コロナウイルスについて



高橋 利彦 議員



コロナで苦勞している 飲食店等の対策を

問 飲食店を含む商店では、コロナ対策により売り上げが減少し、大変な苦勞をしていると感じるが、今後どのような対策を行うのか。

答 現在、時短営業の要請に応じる飲食店には、国や県の支援が実施されている。市としては今後の感染状況や国・県の動向に注視しながら、適切に対応していく。

問 現在実施しているプレミアム付商品券は、1家族で最高5セットを購入すると、全世帯数の15%である4千世帯しか購入することができない。このような対策で十分なのか。

答 事務局である商業振興連合会と相談し、昨年は1万5千セットの販売だったが、今回は2万セットを販売した。

要望のある道路整備は早急に

問 普段市民が通る生活道路について、補修をお願いしてもなかなか補修してくれないという声を聞くが、どのような根拠で補修の順番を決めるのか。

答 個人からの要望の主な内容は、草刈りや道路の穴の補修などが多数であり、可能な限り早急に対応している。

問 飯岡の上永井地区で、道路改良を含む道路の整備が行われている。この道路は普段ほとんど通行がなく、一部の方が住宅に入る道路だと聞いている。どのような理由で工事を行うのか。

答 区から要望書の提出があり、現地を精査した結果、緊急性、危険度などが認められることから実施に至った。

問 区長から要望があったのはいつ頃か。また有力者からの依頼があったのか。

答 平成29年9月に要望書を受付した。あくまでも地区からの要望書を受けて事業化した。その他の質問事項

○ 新型コロナウイルス対策について
○ オリンピックの事前キャンプ地について
○ 牡蠣やハマグリ採取について

要保護・準要保護児童支援を

問 経済的に苦しい世帯が、子ども小・中学校入学前にランドセルや制服の購入にお金を用意しなくても済むよう、要保護児童と準要保護児童には教育に係る支援があるが、1人当たりの支給金額は同じ金額なのか。

答 要保護児童については、生活保護費の教育扶助として支給しており、月1万8千円程度、そのほか教材代として実費を支給。準要保護児童については、市が準要保護者として認定し、就学援助費として支給しており、月1万3千円程度、そのほか新入学児童生徒学用品費、修学旅行費、クラブ活動費などが支給される。

奨学金の返還支援制度導入を

問 奨学金の返還支援制度は、奨学金を活用した学生が卒業後、地元への就職や定住などの一定条件のもと、自治体が奨学金返還に対して支援を行うものである。

り、全国で約420市町村が導入しているが、旭市総合戦略の中にはこの制度があるか。

答 現在本市での取り組みはない。令和2年4月から始まった、授業料の減免や給付型奨学金などの国による高等教育の就学支援新制度の状況を見ながら、本市において実施する場合には、総合戦略への位置づけを検討していく。

問 返還支援制度について市の考えは。

答 支援が学生の奨学金の返還に係る経済的な不安を解消し、就職先として市内企業が選択肢となり、Uターン促進の一因になると認識している。移住・定住施策を総合的に進めていく中で、有効な制度であると思うので、調査研究を進めていく。



伊藤 保 議員



令和2年3月に作成した総合戦略冊子

その他の質問事項
○ 過疎地域指定について
○ 旭市の条例について



遠藤 保明 議員



未舗装市道の整備を

問 市道全体の約7割は舗装されているが、まだ未舗装の道路が多くある。本市では幅員が4メートル未満の道路は新たに舗装しないとのことだが、実際に未舗装市道のほとんどが幅員4メートル未満なので、舗装整備の取決を見直しできないか。

答 有事の際の緊急車両の通行や、通常車両の往来に支障がないような考えに基づいているため、幅員4メートル以上の確保を原則としている。

過疎地対策を

問 新過疎法が施行され、旧干潟町が過疎地域に指定されたが、このことによってどのようなメリットがあるのか。

答 元利償還の70%が交付税措置される過疎対策事業債による支援や、国庫補助金の補助率のかさ上げ、固定資産税の課税免除に伴う減収補てん措置などの

様々な財政支援措置が受けられるようになる。

問 多くの過疎地において移住・定住政策を実施しているが、医療や福祉面で不安があるところが多い。しかし本市には旭中央病院があるため、田舎暮らしをしながらも充実した医療を提供できるという特殊な状況にあるので、この有利な財政支援措置を活用するための計画を策定するべきでは。

答 県から方針の素案が示され、さらに関係機関と協議、調整を重ね、具体的な事業を盛り込んだ計画を策定する。干潟地域の持続的発展のため有利な財政支援措置を活用し、効果的な事業展開を図っていきたい。



過疎地域に指定された旧干潟町

PCR検査の拡充を

問 新型コロナウイルス新規感染者数の減少ペースが鈍くなっており、本市でも6月現在で143人の感染者が報告されている。ワクチン接種の状況は。

答 65歳以上の高齢者については、1回目の接種率は48・7%、2回目の接種率は13・9%。64歳以下の方には今後接種券を送付する予定。11月末までに接種を希望する人全員の接種完了を目指していきたい。

問 日本のワクチン接種数は世界111位、人口比のPCR検査数は世界140位であり、どちらも遅れている。PCR検査をして、事前に陽性者を把握することが重要だと思うが、高齢者施設などで定期的なPCR検査をするべきでは。

答 高齢者施設の入居者などについてはワクチン接種が進んでいるため、状況を見ながら検討したいと考える。



高木 寛 議員



高齢者医療費2倍化法案に反対の姿勢を



問 一定以上所得のある後期高齢者の医療費窓口負担を1割から2割にする「高齢者医療費2倍化法案」が国で可決されたが、本市の見解は。

答 医療費が年々増加する中で、医療費を抑制するために自分の負担をしようということだと思っており、国の動向を見ながらそれに倣っていきたい。

問 改正案に反対する声や、高齢者に容赦なく痛みを強いる実態を踏まえて、市として反対の意見表明をすべきでは。

答 今回の法改正は、少子高齢化が急速に進む中で、現役世代の負担上昇を抑えながら、すべての世代の方々が安心して社会保障制度を構築するものと理解しているので、法令の趣旨に沿って進めていきたい。

その他の質問事項
○核兵器禁止条約について



伊藤 房代 議員



生理用品の配備を

問 金銭的な理由やネグレクトなどにより生理用品が利用

できない、生理の貧困が問題となっているが、本市において、誰一人取り残さない社会を実現するために、女性の生理用品を全小・中学校の女性用トイレに配備できないか。

答 生理用品を忘れた場合や急に必要となった場合などは、保健室において配付や貸与を行っている。女性用トイレへの配備は、衛生面や補充管理など様々な問題を考慮し、学校と協議をしながら検討していく。

ワクチン接種会場の拡大を

問 64歳以下のワクチン接種について、開始時期や接種会場、1日の接種人数を伺う。

答 開始時期は8月1日以降。会場は総合体育館と旭中央病院を予定しており、中央病院では平日は夕方から、土日は一日を

考えている。接種人数は、平日は300名、土日は600名程度。

問 政府は企業、大学などの単位でワクチン接種を行う職

域接種の受付を開始したが、本市でも企業団体や病院と連携を取り、接種会場の拡大はできないか。

答 現在、1日最大800人を接種しているため、集団接種規模については十分と考えている。職域接種は医療従事者や会場などを、企業や大学が自ら確保し、自治体の接種事業に影響を与えないこととしているため、国や県の動向を注視しながら検討する。



旭中央病院内のワクチン接種会場

その他の質問事項

- 困窮世帯への支援について
- 災害対策について
- 新庁舎の駐輪場について
- 学校給食について

QRコードを読み取ると、質問した議員の録画映像がご覧いただけます。

一般質問の内容を
もっと知りたい方は



QRコードからアクセス！

一般質問の内容をもっと知りたいという方は、スマートフォンやタブレット端末で質問議員のQRコードを読み取ると、一般質問の録画映像をご覧いただけます。

※動画の再生には大量のデータ通信を行うため、Wi-Fi環境でのご利用を推奨します。



新議場になって映像がきれいになりました

令和3年第1回臨時会

8月16日に令和3年第1回臨時会が開かれました。この臨時会には教育委員、監査委員の人事案件と補正予算の専決処分の4議案が市長より提出され、いずれも全員賛成で同意、承認されました。

市長挨拶

私は、豊かな旭を次世代へつ

なぐために、チーム旭でのまちづくりを念頭に、市民の皆様との対話を重視し、ともに歩む姿勢でさまざまな意見を反映させる市政をめざして、職務のスタートを切りました。

まず最優先に取り組むべきは新型コロナウイルス感染症対策であります。

現在、市や医療機関が一丸となり、ワクチン接種を進めるべく、日々奮闘しております。1

「豊かな旭を次世代へ」

日も早く全市民への接種が完了できるよう、引き続き関係機関と協力して進めてまいりたいと考えております。

また、同時に生活や経営が苦しくなられた市民や事業者の皆さんが必要とするものを見極め、出来るだけ早く支援が行き届くよう政策に反映してまいりたいと考えております。

コロナ禍による閉塞感を打破するとともに、将来の旭市につなげていくためにも、基本戦略として掲げた3つの柱と、「対話による開かれた市政」をはじめとする6つのまちづくり方針に沿って、積極的にまちづくりを展開してまいりたいと考えております。

登壇して挨拶をする米本弥一郎新旭市長

「チーム旭」で市民とともに歩み、対話する市政をめざして

人事案件

教育委員会委員の任命(議案第1号、2号)

再任 鈴木 典男氏(三川)

新任 平野 勝久氏(後草)

監査委員の選任(議案第3号)

再任 木村 哲三氏(ハ)

専決処分

令和3年度旭市一般会計補正予算(議案第4号)

新型コロナウイルスの影響が長期化する中、緊急小口資金等の特例貸付を利用できない生活困窮世帯のうち、一定の要件を満たした世帯に対して単身世帯は6万円、2人世帯は8万円、3人以上世帯は10万円の「生活困窮者自立支援金」を最大3か月支給する。

問 現在までの給付状況は。また、専決処分による事業効果は。

答 7月末現在の問い合わせ件数は二十数件、申請件数は1件。困窮されている方をいち早く支援するため、支援の隙間を埋めるためにも専決処分により迅速に行った。

令和3年第1回臨時会 審議結果一覧

○=賛成 ×=反対
欠=欠席 議=議長
※議長は採決に加わりません。

議案番号	件名	議決結果	1 崎山 華英	2 永井 孝佳	3 井田 孝	4 島田 恒	5 片桐 文夫	6 平山 清海	7 遠藤 保明	8 林 晴道	9 宮内 保	10 高木 寛	11 飯嶋 正利	12 宮澤 芳雄	13 伊藤 保	14 島田 和雄	15 伊藤 房代	16 向後 悦世	17 景山 岩三郎	18 木内 欽市	19 佐久間 茂樹
市長提出議案																					
1	旭市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	議	欠	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
2	旭市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	議	欠	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
3	旭市監査委員の選任につき同意を求めることについて	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	議	欠	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
4	専決処分の承認について (令和3年度旭市一般会計補正予算)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	議	欠	○	○	○	○	○	○	○	欠	○

※木内議長欠席のため、宮内副議長が議長を務めました。



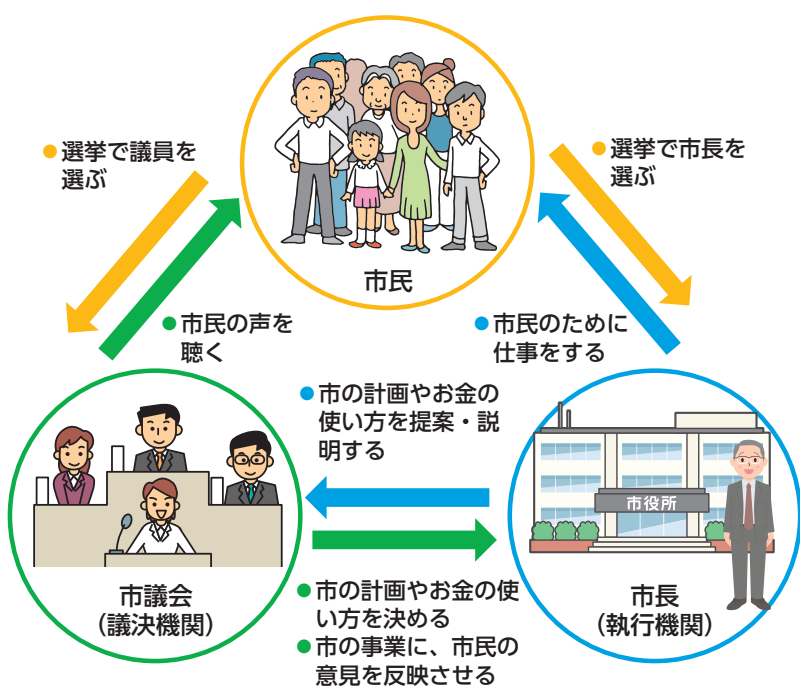
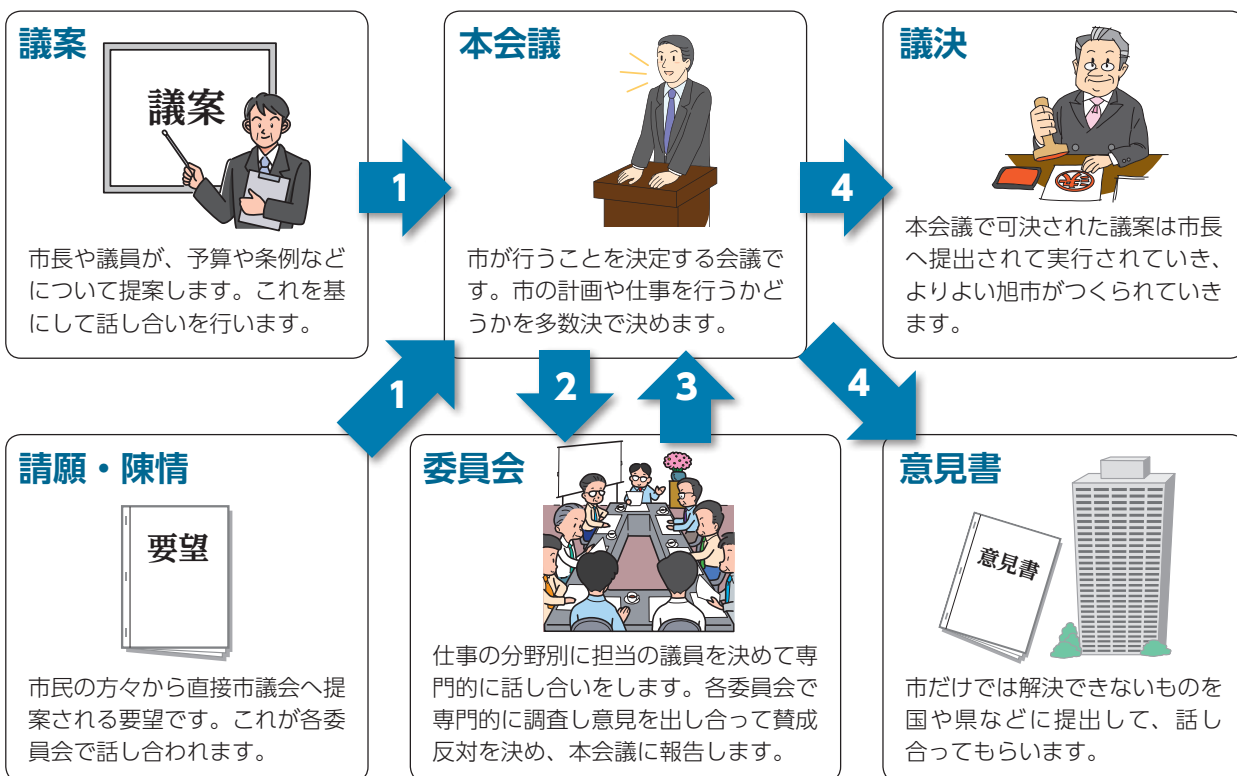
CHECK!

市議会ってなんだろう

市議会とは……

市議会は、選挙で選ばれた議員が市民の代表となって市長や行政と話し合いをするところです。例えば、市の予算や仕事の方針を決め、行政の仕事が正しく行われているか調査し、意見を述べます。市議会は、通常3月、6月、9月、12月の年4回開かれ、これを定例会と呼んでいます。必要があれば臨時会が開かれます。

市議会の流れ



市では、まちづくりや福祉、教育、道路、上下水道など市民生活に深く関わるさまざまな仕事をしています。これらの仕事(市政)を進める上では、市民の皆さまの意見や要望が十分に反映されなければなりません。しかし、すべての市民が一堂に会して市政の進め方について話し合うことは困難なため、選挙により、市議会議員や市長を市民の代表として選出し、市政の運営をゆだねています。

市議会と市長は、車の両輪のように協力するとともに、互いに尊重し、論議しあいながらより良い旭市をつくるために努力しています。

新型コロナウイルス 20～50代の陽性者が急増

医療体制がひっ迫しています 命を守る行動を

新型コロナウイルスの陽性者数が急増したことで、医療体制がひっ迫しており、これまでにないほど危機的な状況です。不要不急の外出自粛、マスクの着用、手洗い・手指の消毒などを徹底し、いま一度、一人一人が命を守るための行動を取るよう、お願いします。

市内居住者の新型コロナウイルス陽性者数の推移



若い人でも症状が悪化する人が増加

これまで、若い人の多くは症状が軽い傾向にありましたが、最近では、39度前後の発熱や下痢症状、水分や食事が取れない状態が続き、入院が必要となる人が目立ちます。「自分は若いから感染しても大丈夫だろう」と思うのは禁物です。



9

月定例会の予定 (8月30日～9月22日)

日	月	火	水	木	金	土
8/29	30	31	9/1	2	3	4
	開会			議案質疑		
5	6	7	8	9	10	11
	一般 質問			決算審査	特別委員会	
12	13	14	15	16	17	18
		建設経済 常任委員会	文教福祉 常任委員会	総務 常任委員会		
19	20	21	22	23	24	25
			閉会			

いずれも10時から開催予定です
日程は変更となる場合もありますので、ホームページ等でご確認ください。

永年勤続表彰

第97回全国市議会議長会の定期総会で、市議会議員として15年以上在職し、市政の振興に努めた功績により、島田和雄議員が表彰されました。



議長から島田議員に表彰状を授与

■米本弥一郎議員が辞職

議員辞職願が提出され、議長がこれを許可したため、5月31日をもって辞職となりました。

■高橋利彦議員が失職

旭市長選挙に立候補したため、7月11日で自動失職となりました。

編集後記

新型コロナウイルスの感染が急拡大しており、緊急事態宣言を発令してもなお抑え込むことができていません。1年半以上強いられてきた自粛疲れや、コロナ慣れなどで、特に若い世代の感染が増加傾向にあります。身近な人の命を守るためにも、あらためて一人ひとりが危機感を持ち、基本的な感染対策の徹底をお願いします。

この8月、同僚だった米本議員が旭市の新市長となり、新たな市政がスタートしました。臨時会の市長挨拶では、まずは新型コロナ対策を最優先に、一日も早いワクチン接種の完了、そして市民や事業者へ必要な支援を行うとありました。我々議員も市民の代表として、コロナ禍で本当に困っている人の声をすくい上げ、その声を市政に反映させていきたいと思います。

(委員 片桐文夫)

旭市議会だより編集特別委員会

委員長 林 晴道
副委員長 平山 清海
委員 高木 寛
委員 片桐 文夫